

平成28年度 沖縄県振興審議会 第1回産業振興部会議事要旨

平成29年1月24日（火）13:30~16:20
ネストホテル那覇2階フィニックス

1. 議題【将来象1-(3)-イ クリーンエネルギーの推進】について

- (1) エネルギー政策は国の重要な政策でもあり、国の関わりを積極的に求め連携して行く事が重要と考えることから、改正案に「国との連携により、」を追加するべきではないか。
- (2) 電力エネルギー以外の一次エネルギー分野においても液化天然ガス（LNG）の導入が進められていることから「電力」を削除すべきではないか。
- (3) 観光分野については民生部門における記載となっているため、「観光、」を削除するべきではないか。

2. 議題【将来象1-(3)-ウ 低炭素都市づくりの推進】について

- (1) 今後5年間の改定案には低炭素都市づくりとしての施策展開は必要であるため「スマートシティへの取り組み」を追加するべきではないか。
- (2) 「面的利用」とあるが、「多面的利用」の誤りではないか。

3. 議題【将来象1-(5)-イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興】について

- (1) 県内染織物に重要な県内産原材料確保においては課題が多く、緊急に対応する必要があるため、「伝統的に使用された天然原材料は、従事者の高齢化や後継者不足、資源の枯渇化などにより入手が困難となっているものも少なくありません。原材料の確保のために製造技術者の育成及び植林や栽培技術の改善、代替品の開発等を関係機関と連携して取組むことで、原材料安定供給システムの構築に努めます。また、伝統工芸産地組合等」として修正すべきでないか。
- (2) 後継者育成や消費拡大につながる若年層にも積極的に伝統工芸品に触れ合う機会を増やし関心を高めるため、また感性型製品は一般的な言葉ではないため、「学校教育、体験学習などで伝統工芸品に触れ合う機会を増やし、ま

た、作り手と使い手との交流を促進するなど、後継者育成や伝統工芸品」へ追加・修正をするべきではないか。

(3) 県民が具体的に想像できる場所の記述があると分かり易いため、「県立博物館・美術館や那覇市ぶんかテンプス館など」を追加するべきではないか。

4. 議題【将来象 2-2) -イ 地域における子育て支援の充実】について

(1) 子育て支援だけでなく、男女協働参画を含む新しい働き方の記載もあるため、「働き方の改革」を追加するべきではないか。

5. 議題【将来象 3-1) -エ 国際ネットワークの構築、移動移送コストの低減及び物流対策強化】について

(1) 「釜山、上海、香港等」に、シンガポールを追加する必要があるのではないか。

6. 議題【将来象 3-3) -ア 情報通信関連産業の立地促進】について

(1) 改正案において、コンタクトセンターをコールセンターへ修正し、テストング業務については削除を行う必要があるのではないか。

(2) AI・ロボットについて追記する必要があるのではないか。

7. 議題【将来象 3-3) -イ 県内企業の高度化・多様化】について

(1) 県内 IT 産業の核となる拠点が重要なため、「更には沖縄県の IT 産業の核となる、」を追加するべきではないか。

(2) 膨大なデータの分析により、マーケティングや製品開発などへの利活用を促進していく必要があるため、「ビッグデータ」を追加するべきではないか。

(3) 「ソフトウェア・ITサービス等の信頼性確保等に向けた支援を実施します。」とあるが、信頼性は企業側が受け持つので、販路拡大に関する支援を実施してもらいたい。

8. 議題【将来象 3-3) -ウ 多様な情報系人材の育成・確保】について

(1) アジアというキーワードが多いが先進地（アメリカ・ヨーロッパ）を含めてはどうか。

(2) 「我が国」との記載があるが、他の書きぶりと併せて「日本」へ修正するなど表現を統一する必要があるのではないか。

(3) 高等教育機関である、「高等専門学校」を追加するべきではないか。

9. 議題【将来象 3-(4)-ア 臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成】について

(1) 全体を見ると M I C E という文言がよく出てくることから「M I C E」で統一した方がよいのではないか。

(2) 3-(1)-エに記載のある「C I Q」の定義と一致しないが統一する必要があるのではないか。

10. 議題【将来象 3-(5)-ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化】について

(1) 農商工連携だけでは最先端ビジョンにならないため、「医農工連携」を追加するべきではないか。

11. 議題【将来象 3-(5)-エ 科学技術を担う人づくり】について

(1) 「基礎」を「基盤」へ変更するべきではないか。

(2) 沖縄の子供たちに夢を与えるため、「将来的に沖縄初のノーベル賞受賞者を輩出できるよう目指していきます。」を追加するべきではないか。

(3) 現在 OIST や琉大の協力の下に高等専門学校及び高等学校の生徒を対象に開催されている「SCORE! (Science in Okinawa: Research for Enterprise) サイエンス in オキナワ: 起業のための研究能力 サイエンス・フェア」などの企画は、高校生にサイエンスの社会的役割を認識させるために有効であり、具体的な企画としてここで言及することがあっても良いのではないか。

12. 議題【将来象 3-(6)-イ 環境関連産業の戦略的展開】について

(1) 県内の水素社会検討は、今後 5 年間に施策展開が必要であるため、「水素社会の技術的な検討」を追加するべきではないか。

(2) 沖縄で確立した新しい技術等は、同様の位置、問題を抱える地域に共通に適用できることから、「さらに、ここで培われた知識・技術をアジアや世界の同様の島しょ地域に還元し、新しいスタンダードとすることで沖縄発のビジネスを目指します。」という一文を追加する必要があるのではないか。

13. 議題【将来象 3-(8) 地域を支える中小企業等の振興】について

(1) 人材の多様化はハードルが高いと感じる企業も多く、内容の説明が必要なため、「競争優位性を得るため多様な人材を活用すること」、また社員のキャリア持続を実現するための「働かせ方の多様化」、「人材育成」について

も別々の課題項目として追加するべきではないか。

14. 議題【将来象 3- (8)- ア 中小企業等の総合支援の推進】について

- (1) 人材の課題については、中小企業の重点課題であることから、経営革新併せて整理する必要があるのではないか。

15. 議題【将来象 3- (9)- ア ものづくり産業の戦略的展開】について

- (1) 例えば、県立分析・評価センターのような機関（組織）を立ち上げ、ヒト介入試験まで実施可能な場所を県経済に提供できないか。

- (2) 最近の海外産業界と県内業界団体との間のMOU締結の進捗を考えると、ICT環境下における県外・海外企業との連携により県内ものづくり企業の高度化を図るためにはIoTや第4次産業革命というキーワードは外すわけにはいかないのではないか。

- (3) 県内では、高度な人材育成の前に、そこに配置する人材が不足しているように強く感じる。まず、そのような仕事についてみたい、その仕事をやってみたいと若い人に関心を持ってもらうことが重要であるため、県内の初等教育、中等教育、高等教育のより一層のシームレスな連携が求められている。

- (4) 原材料品質向上のための試験研究は重要であり、また商工、農林関係の連携が必要なため、「また、伝統工芸品でも、繊維、染料、陶土等の原材料の確保に努めるとともに、関係機関と連携し、品種改良等や県産素材活用のための試験研究を推進します。」へ修正すべきではないか。

- (5) 産業イノベーション制度の目的と平仄を合わせるため、「生産」を追加すべきではないか。

16. 議題【将来象 3- (9)- イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成】について

- (1) 貿易関係証明については、主に那覇商工会議所が担っているが発給件数が急激に伸び負担が重く、県の支援が必要なため、「プロモーション展開、商工会議所等における貿易関係証明の発給業務等」を追加すべきではないか。

17. 議題【将来象 3- (9)- ウ 安定した工業用水・エネルギーの提供】について

- (1) 今後5年間の県内のエネルギー政策を考え、電力自由化への対応は重要なため、「電力自由化への対応」を追加すべきではないか。

- (2) 重要なエネルギーの安定供給のため、関係者が連携し改善していける仕組みが必要であり、ビジョン後半の産業振興の実現に向けて産業基盤の根幹を

なすエネルギーの安定供給の重要性について再認識する表現が必要ではないか。

- (3) エネルギーや水を含めたインフラ技術の展開を推進していく必要があるため、ビジョン後半に向け、アジア経済戦略構想と同様にエネルギーが直接的に産業振興をけん引する可能性がある事を表現するべきではないか。

18. 議題【将来象 3-(10)-ウ 職業能力の開発】について

- (1) 高齢者の増加や労働力人口の減少に伴い、現役で仕事ができる高齢者の活力維持のため、「在職者や定年後に再就職等を希望する高齢者を対象とした訓練の充実」へ修正すべきではないか。
- (2) 人手不足であることや、年金支給年齢の引き上げ、1億総括役社会という中で、シルバー人材センターでは弱いのではないか。これからどんどん増えていく高齢者に対して、AIやIoTといった新しい技術を再訓練することや、年齢間のミスマッチが縮小していることもあり、スキルを持っている高齢者もいることから新しい時代の変化に合わせて、改定案で強化・強調してもよいのではないか。
- (3) 高度な技術を持つ人材の活用や若くて県外に出てUターンしてくる有用人材の活用についても記載しておく必要があると感じる。また、県外の定年退職者で同様の高度な経験・知識・技術を持つ人材の活用についても触れてはどうか。

19. 議題【将来象 3-(10)-エ 働きやすい環境づくり】について

- (1) 全国でも在宅勤務が進められており、行政としても企業や関係機関と連携し、親の介護等で離職する社員を減らすため、「また、育児や介護などで有能な人材が離職することを防ぐため、今後は在宅勤務の導入が進んでいくことから、企業や関係機関と連携してこうした取り組みについても支援していきます。」と追加すべきではないか。

20. 議題【将来象 3-(11)-イ 生活環境基盤】について

- (1) 当該項目は離島の生活環境基盤の整備における電力の安定供給についての記載であり、クリーンエネルギーの推進とは目的が異なるため、削除すべきではないか。

21. 議題【将来象 4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進】について

- (1) 沖縄県アジア経済戦略構想の取り組み内容を反映させるため、「ジェットロ沖縄貿易情報センターと協力して」を追加すべきではないか。

22. 議題【将来象 5-(4)-ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進】について

- (1) 沖縄工業高等専門学校の記事に、航空技術者コース化に向けた取組が現在行われているので、羅列されている産業の中に航空関連産業という記載を入れていただきたい。

23. その他

(1) 議題【第2章 4-(2)リーディング産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築】について

- ①リーディング産業として観光リゾート産業と情報関連産業をあげ、それぞれにおいて世界水準の観光リゾート地と日本とアジアを結ぶ IT ブリッジ拠点と位置付けているが、去る1月の成人の日を含む連休において、沖縄自動車道許田インター名護方面ゲートで ETC 車線以外において2 kmに及ぶ大渋滞が観察された。恐らく県外からの旅行者もこうした渋滞に巻き込まれ、大変な不便と不快な思いをさせたのではないかと懸念する。政界水準の観光リゾート地を目指すのであれば、県内で良く利用されていると聞くレンタカーにもこうしたインフラを導入し不便性を解除することが望ましいのではないかと思う。
- ②県庁内の幾つかの部局にまたがって継続的に検討されるべきものについて、部局の壁を越えた形での対応の有り方について具体的記述が見当たらない。

(2) 議題【将来象 3-(1)-エ 国際ネットワークの構築、移動移送コストの低減及び物流対策強化】について

- ①航空関連の記事に比べて、航路の記事が少なくバランスが悪いことから3-(4)-ア的那覇港に関する文章をここにも記載してはどうか。

(3) 議題【将来象 1-(3)-イ クリーンエネルギーの推進】について

- ①今回予定されている規模のMICEの運営に当たって大きく懸念されることの一つとして、維持管理に係る空調費がある。当該項目には『水溶性エネルギーの有効活用に向けた取り組みを促進』や『液化天然ガス(LNG)の利用を促進』とあり、これらの資源或いはエネルギー供給施設は今回設置予定地域の近傍で過去に採掘の検討がなされ、既存設備も存在している。先述のMICEにおける空調費の課題を、大所高所より統合的に検討・判断し、こうした資源或いはエネルギー供給施設を有効に連携させながら、環境モデル地域として設計し実現すべきではないか。各部局の壁を越えて検討していくべき必要がある。

(4) 議題【将来象 3-(4)-ア 臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の

形成】について

- ①『旅客ターミナルの拡張整備』とあるが、現在のターミナル位置では、2本の滑走路の機能が十分に発揮できなとの議論があり、将来においては2本滑走路の機能を十分に発揮するためのターミナルを含めた諸施設の適正配置についての課題があることを述べておく必要性はないか。

(5) 議題【将来象5-5) 産業振興を担う人材の育成】について

- ①「沖縄の持続的な産業発展に向け」の次に産業振興を下支えする基盤整備人材の育成を追加してほしい。また、防災という観点からも全産業に関わることなので、基盤整備という記載をしてほしい

(6) 議題【将来象5-5)イ 地域産業を担う人材の育成】について

- ①農林水産業における就業人口の減少と高齢化への対応、若年就農人口の増加にもつながるため、「また、ITなどの先進技術の活用を促し」を追加するべきではないか。

以 上